

月平均 500mb 天気図. 1990年12月

(破線は平年からの偏差. 単位m)

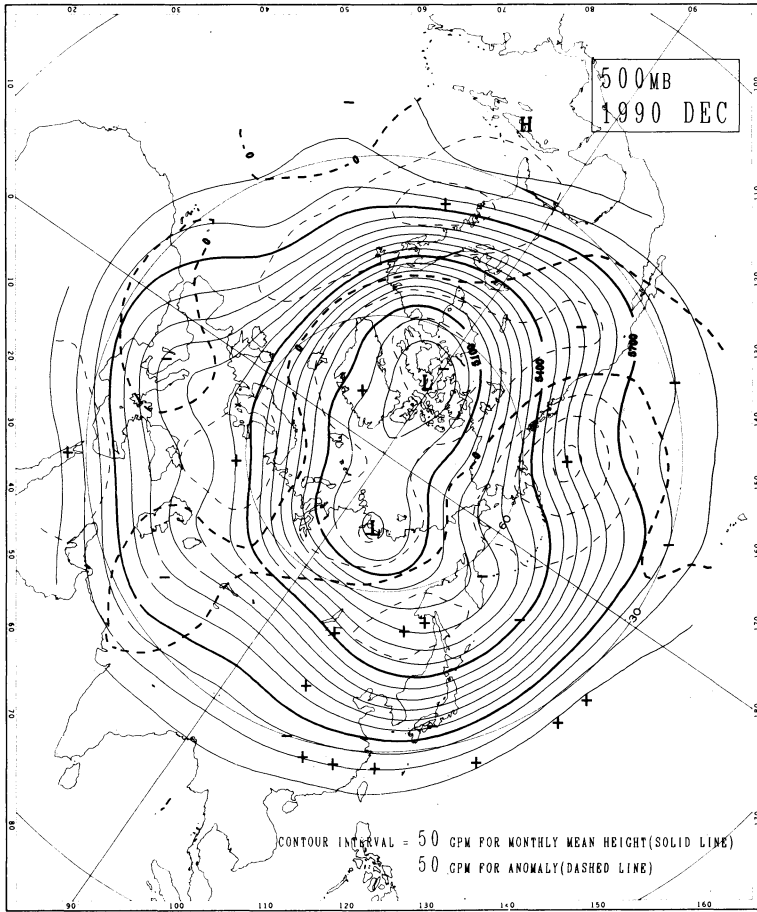


表1 1990年 12月の気候表

地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級	地点名	気温 ℃	偏差 ℃	DT/SD	降水量 ミリ	比率 %	降水 階級
パリ	—	—	—	—	—	—	カサブランカ	13.8	0.9	0.9	104	95	4
ベルリン	1.2	-0.3	-0.1	65	133	5	ニオロドサヘル	24.1	1.0	0.8	0	0	—
ローマ	—	—	—	—	—	—	プレトリア	—	—	—	—	—	—
イスタンブール	9.5	1.4	0.9	124	108	5	バンクーバー	0.8	-3.1	-1.9	202	111	4
モスクワ	-3.4	2.6	0.7	15	32	—	ニューオリンズ	15.0	2.2	1.2	246	184	5
オデッサ	2.4	1.0	0.5	73	173	5	セントルイス	1.5	0.2	0.1	164	291	5
ニューデリー	15.7	0.0	0.0	33	440	5	サンフランシスコ	8.0	-1.6	-1.2	46	51	2
カルカッタ	—	—	—	—	—	—	ニューヨーク	6.2	3.9	1.9	124	139	4
ボンベイ	26.8	0.6	0.9	0	0	4	マナウス	—	—	—	—	—	—
ホンコン	18.8	1.2	0.9	0	0	1	リオデジャネイロ	—	—	—	—	—	—
チャンチュン	-10.0	2.7	1.0	12	273	5	ロサリオ	—	—	—	—	—	—
ベキン	-0.8	1.6	0.9	0	0	3	ホノルル	23.4	0.2	0.3	125	140	4
シャンハイ	6.6	0.4	0.2	54	132	4	タヒチ	27.0	0.5	1.0	55	20	1
バンコク	26.8	0.8	0.7	0	0	—	ダーウィン	29.3	0.3	0.5	290	117	4
マニラ	26.6	0.9	1.5	34	56	3	キャンベラ	21.0	2.7	2.3	44	78	3

12月の世界の天候

12月の月平均 500mb 高度を見ると、寒気が北極付近に蓄積し、中緯度付近はアメリカ西部を除きほとんど正偏差に覆われている。このような寒気の蓄積状態は、9月から続いている。

① 東アジア北東部の高温

北日本、中国北部およびシベリア南東部では11月に引き続き高温であった。

② サヘルの高湿

11月に引き続き高温となった。ニジェールのマラディで月平均気温25.5°C（平年差+3.2°C）など。

③ アメリカ合衆国北東部の多雨

合衆国北東部から中南部にかけては雪や雨に見舞われ、テネシー州やオハイオ州では洪水が発生するなど、大荒れの天候となった。オハイオ州シンシナティでは月降水量 201 mm（平年の2.7倍）を記録している。

④ アメリカ合衆国西部の低温

アメリカ合衆国西部を中心に、下旬に長期間の寒波に見舞われた。新聞には、9日間連続して最低気温を更新した記事が見られるなど記録的低温となった。ユタ州ソルトレークシティで、月平均気温-6.1°C（-5.2°C）

など。なお、この寒波のためカリフォルニア・アリゾナの両州では、かんきつ類や野菜などに大きな被害が出ている。逆に、東部ではクリスマスに春のような暖かさとなった。

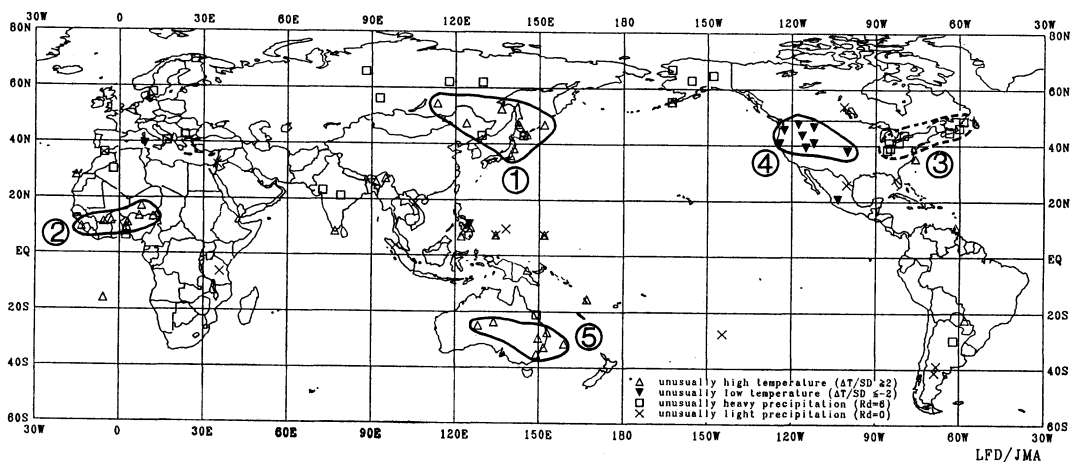
⑤ オーストラリア南東部・内陸部の高温

オーストラリアではほぼ全域で気温が平年より高く、特に南東部から内陸部にかけて高かった。首都キャンベラで月平均気温 21.0°C（+2.7°C）など、月平均気温偏差で2°C以上高いところが多かった。

⑥ その他

日本では、北海道を中心に多くの地点で観測開始以来の12月の月平均気温の高い記録を更新した（特に旭川・帯広では、ともにこれまでの記録を1.3°Cも更新している）。1990年の日本の天候は暖冬・暖春に続いて、空梅雨・猛暑の夏、その後は記録的な暖秋と続き、四季を通して気温の高い状態が続いた。このため、12カ月のうち9カ月は全国のだどこかで月平均気温の観測史上最も高い値を更新し、地域平均気温でも北海道から九州まで、年平均気温のもっとも高い記録を更新した。

（気象庁長期予報課・小島直美）



1990年12月の世界の異常天候分布図

図中の番号は、本文中の番号と対応している。

△：高温 ▼：低温

□：多雨 ×：少雨

1990年12月の気候表の説明。平均値は1951～1980年のデータに基づくもの。降水階級は五分位値で、0は最小値より小さい場合、6は最大値より大きい場合。